

申 請 者	所在地	栃木県鹿沼市口栗野724-2
	名 称	株式会社オオモリ
	代表者	大森 英幸

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

樣式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
			1	2	3			3.9	6.3	11.6	12.4	12.3	12.4	12.5	13.3	14.1	15.1	15.2	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7	
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	○	○	○	基本	雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別の無い体制を構築し、働きやすい職場づくりを目指す。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	○	○	○	基本	ハラスメントを禁止についての社内規則を整備して取り組んでいく。 ハラスメント研修を定期的に実施していく。 ハラスメント発生時の相談窓口を設置していく。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1			
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない		○	○	基本	年次有給休暇の取得を奨励し、過度な長時間労働を抑制するため、勤怠管理を徹底していく。							8.5 8.8										
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	○	○	○	基本	外国人技能実習生等の外国人労働者への適切な待遇や労働環境を整備していく。				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	○	○	○	基本	労働時間に関する社内規則を整備し、年次有給休暇の取得を奨励し、過度な長時間労働を抑制するため、勤怠管理を徹底していく。				3			8										
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	○		○	基本	メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を定期的に実施していく。 メンタルヘルス疾患等に対応した休暇制度を整備していく。				3													
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	○	○	○	基本	多様な人材、雇用形態に関わらず、活躍可能な就労環境を提供していく。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	○	○	○	応用				3					8									
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	○	○	○	応用	研修受講や資格取得を支援する環境を提供していく。				4			8 9										
	10	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	○	○	○	応用									8.5		10.2 10.3							
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	廃棄物を削減する方針・計画に従い、削減にむけた具体的な取組を行っていく。										11.6	12.3 12.4 12.5		14.1				
	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	事業活動で使用するエネルギー使用量を把握・記録し、節約に努めている。							7.3						13				
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	自社の事業活動で排出している温室効果ガスの量を削減する方針・計画を策定し、削減にむけた具体的な取組を検討していく。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4					

申請者	所在地	栃木県鹿沼市口栗野724-2
	名称	株式会社オオモリ
	代表者	大森 英幸

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																	
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	生物の生息地、希少種の保全、在来種の保護に配慮した事業活動を行っていく。																15		
	16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努め、雨水の再利用や井戸水の利用により、節水活動を促進していく。							6.4 6.6											
	17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用								3.9		6 7						12 13.3	14	15	
	18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用															12.6				
	19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用											7.2						13		
	20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用															12.2	13 14	14	15	
	21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用										6.3					11.6 12.5	12 13	14	15	
公正な事業慣行	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に研修等で意識浸透を図っていく。															16 16.5			
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に研修等で意識浸透を図っていく。																16		
	24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	特許・商標等知的財産の取得した際には、適切な管理体制を構築していく。									8.2 8.3	9								
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	個人情報の取扱いに関する社内方針を定め、社内研修等で周知を図っていく。																16		
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																		16	
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用										5		8		10		12 13	14	15 16	17
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	自社の製品・サービスの安全性を確保するための社内基準を遵守して取り組んでいく。。									3.9						12.4			

申請者	所在地	栃木県鹿沼市口栗野724-2
	名称	株式会社オオモリ
	代表者	大森 英幸

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																		
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
ノース	29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している		○		基本	品質の保証に関する社内方針に従い、定期的に研修を実施し周知徹底していく。 不具合の発生時には、経営トップが関与し、対応していく。																			
製品・サービス	30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○	○	○	応用															12	13	14	15		
製品・サービス	31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
社会貢献・地域貢献	32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	事業を通じて地域の課題を把握し、地域住民や地方自治体等と連携して課題の解決に向けて取り組むことで地域社会・地域経済に貢献していく。					4					9	11	12		14	15	17			
社会貢献・地域貢献	33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	地元の学生を対象に、職場体験を受入れしていく。 地域の防災・防犯・環境美化活動に参加していく。 災害発生時との緊急事態の際には、地方自治体等と連携してボランティア活動に取組んでいく。 災害発生時には、当社施設・設備の開放などの協力体制を受け入れていく					4							11		14	15	17			
社会貢献・地域貢献	34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用												8	9	11	12	13				
組織体制	35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方方が社内に十分浸透している		○		基本	法令遵守に関して、社内方針を明文化して、定期的な研修等により、コンプライアンスに関する社内への意識浸透を図っていく。																16			
組織体制	36	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている		○		基本	経営理念については、経営トップが社員に対して、社是として、あるべき姿を随時伝えていく。										8	9						17		
組織体制	37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用																			16	
組織体制	38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用																			16	
組織体制	39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用																			16	
組織体制	40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用																			16	
組織体制	41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用																			16	17
組織体制	42	【事業継続】 ・事故や灾害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用													9	11	13	13.1			16	
組織体制	43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		応用												8	9						17	

申請者	所在地	栃木県鹿沼市口栗野724-2
	名称	株式会社オオモリ
	代表者	大森 英幸

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当 環境 社会 経済	期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】

- SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する場合は赤字で番号を記載しています。（SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- 「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度など）